

令和4年度シラバス（家庭）

教科（科目）	家庭（家庭基礎）	単位数	2単位	学年（系）	2学年
使用教科書	実教出版『新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来』				
副教材等	実教出版 2022 生活学Navi 資料+成分表				

1 学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

自立をうながし、生活力を身につけさせるために、実践的・体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指します。また、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てることを目指します。

3 学習計画（1単位時間：55分）

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動	時間	評価方法
4	【1編】 人とかかわって生きる 〈1章〉 自分らしい生き方と家族 ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	教科書 資料集 授業プリント	生活設計 男女共同参画 社会 家族の機能 民法 労働・職業意識	生活設計について生涯発達の視点から考える。 男女ともに、家庭・地域・労働に関わることの重要性を認識する。 家族との関わりについて考える。 時代とともに変化する家族・家庭の役割・意義と問題点を知る。 職業労働と家事労働、ワーク・ライフ・バランスの実現の重要性について考える。職業意識を高める。 ○「家事労働」は、だれの仕事？：各家庭での役割分担をグループで話し合い、発表する。	6	授業への取り組み 授業プリント 定期考査
5 6	【2編】 生活をつくる 〈1章〉 食生活をつくる ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	教科書 資料集 授業プリント	食生活の現状 栄養素 食事摂取基準 食品の選択 実習 (10月下旬～) 食料事情	日本の食生活の現状を知り、自分の食生活の自立につなげる。 栄養素の種類とはたらきを知り、健康との結びつきを理解する。また、ライフステージ別の献立の特徴を知る。 表示の見方や意味を知り、また、衛生・安全性を考慮した食品の選択ができるようにする。 日常食の食事の整え方や調理の基本的な技術を身に付け、実践できるようにする。 日本の食生活と海外・環境との関係や課題を理解し、解決のための方策を知り、実践できるようにする。 ○年末の授業で、おせち料理の意味について学ぶ。家庭でおせち料理を一緒につくるなどとおして意識を高く持ち、お正月を迎えるようにする。郷土料理の伝承についても学ぶ。	13	授業への取り組み 授業プリント 定期考査
7 8 9	【2編】 生活をつくる 〈2章〉 衣生活をつくる	教科書 資料集 授業プリント	衣服の機能 衣服の素材 衣生活の管理 衣服の資源・環境 製作(6月下旬～)	ライフステージ別の衣服の特徴を理解する。衣服の機能を知り、着用目的に応じて衣服の選択・着装ができるようする。 衣服の素材について、違いや特徴を理解する。衣服の購入から廃棄まで、適切な管理の方法を理解する。 衣生活に関する環境問題について理解し、解決のための方策を知り、実践できるようにする。 基本的な縫製技術を習得する。	11	授業への取り組み 授業プリント 定期考査

10	【1編】 人とかかわって生きる (2章) 子どもとかかわる	教科書 資料集 授業プリント	子どもを知る 子どもの発育・発達 子どもの生活 子どもの福祉	子どもと適切に関わるという視点を意識できるようにする。 子どもの発育・発達をうながすために、保育者との関係が重要であることを理解する。 子どもの生活の特徴を理解する。 子育てを支える社会的なしくみを知る。 子どもの権利を保障するしくみについて理解する。	8	授業への取り組み 授業プリント 定期考査
11	【1編】 人とかかわって生きる (3章) 高齢者とかかわる ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	教科書 資料集 授業プリント	高齢社会 高齢者を知る 介護保険制度	日本の高齢化の現状を知る。 加齢にともなう変化を理解する。また、それには個人差があることを理解する。 介護を社会で支えることの重要性を知る。介護保険制度のしくみを知る。 ○各家庭及び地域の高齢者の実情や気持ちを聞き取り、今の社会問題を考え、将来に活かす。	5	授業への取り組み 授業プリント 定期考査
12	【1編】 人とかかわって生きる (4章) 社会とかかわる	教科書 資料集 授業プリント	社会保障制度 共に生きる	日本の社会保障制度のしくみを理解する。 ノーマライゼーションの考え方を知り、地域の一員として支え合うことの重要性を理解する。 ボランティア活動の意義を理解する。	5	授業への取り組み 授業プリント 定期考査
1	【3編】 消費者として自立する (1章) 消費行動を考える	教科書 資料集 授業プリント	消費行動 契約 消費者信用 消費者の権利と責任 環境問題 家計管理 経済的な自立	意思決定のプロセスを意識しながら、主体的な消費行動ができるようにする。 契約の意味を知り、不当な契約を解除する方法を理解する。 消費者信用について理解し、将来、慎重な消費行動が求められることを知る。 消費者として各自が権利の主体としての意識を持ち、そして行動することが消費者の責任につながることを意識できるようにする。 各自の消費行動・ライフスタイルにおいて発生する環境問題に気づき、それを解決するための方策を知り、実践することが、持続可能な社会につながることを理解する。 自分の収入を考えた家計管理をできるようにする。 将来、長期的な生活設計を考えるうえで、経済的な自立は重要性であることを認識する。	8	授業への取り組み 授業プリント 定期考査
2	(2章) 経済的に自立する					
3	【2編】 生活をつくる (3章) 住生活をつくる	教科書 資料集 授業プリント	住まいの機能 住空間 住まいの環境 安全な住まい これからの住まい	住まいの機能について知る。 住空間の機能を理解する。また、平面図を読み取ることができるようにする。 健康的な室内環境の整え方を理解し、各自が実践できるようにする。ライフステージに応じた工夫を理解する。 安全に配慮した室内環境の整え方を理解し、各自が実践できるようにする。 地域で暮らす住民として、居住環境を整えるなど、地域のまちづくりに関心を持てるようにする。	8	授業への取り組み 授業プリント 定期考査
合 計					64時間 (55分授業)	

4 課題・提出物等

授業プリントの提出。長期休業に課題が課せられることもあります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解
家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上させるために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上させるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <p>①授業の取り組み（授業態度、グループ活動や実験・実習への参加状況など）</p> <p>②提出物の提出状態とその内容 ③定期考査 などから、総合的に評価します。</p>			

6 担当者からの一言

社会の一員として考え行動できるよう、また、現在の生活及び将来のライフスタイルを考えて生活を実践していけるよう、基礎知識を学び実技習得を通して、創造的・意欲的に楽しみながら、共に学びましょう。

（担当 岸野 節子）